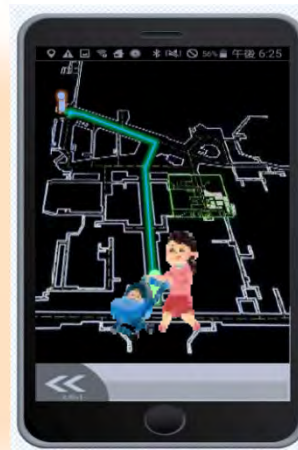


「誰もが動きやすい国、日本」

誰もがストレスなく自由に活動ができるユニバーサル社会の構築に向け、ICTを活用し、個人の属性に応じたサービスを提供

例) 車いすや、ベビーカーで楽に移動できる段差の少ない経路の案内



訪日外国人や高齢者等が、複雑な構造となっている地下空間での円滑な駅間の乗り継ぎや屋内内外目的地向へのシームレスな移動が可能に

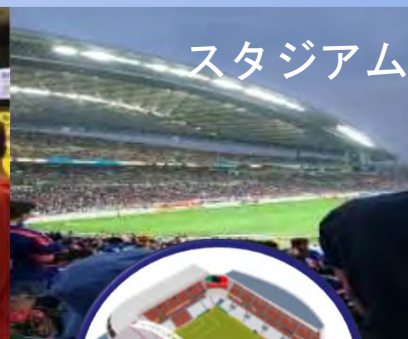
ストレスフリー社会・ユニバーサル社会の実現



広い空港内の経路も



複雑な駅間の乗り換えや屋内（地下）空間も



自分の座席までの経路も

2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会
総合科学技術Project ① スマートホスピタリティ

展開イメージ 2020東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに日本を訪れるすべての人が
言語や文化の違いを超えて競技の感動や興奮を分かち合うことができる大会へ

**国際線でもCAと
らくらく会話**
Do you have green tea? (緑茶ありますか?)
はい! ご用意します

**乗りたい電車がすぐわかるから
目的地へスムーズに移動できる**
محطة الدولية / 国際線ターミナル駅
معلومات / ご案内
国際線ターミナル駅
ご案内
INFORMATION

**自動翻訳で
楽しいショッピング**
I'll take it. (これを下さい)
こちらになります

**ケガ人や急病人など
緊急時にも
スムーズに意思伝達**
그녀는 지병이 있다 (彼女は持病があって...)

Scene1 国際空港

Scene2 街の中

**言語や文化を
超えてみんなで
競技観戦**
What is that player? (あの選手は誰?)
観てみましょう

**ボランティアスタッフが
多言語対応で
会場案内**

**ロボットたちが
大会運営を
サポート**
Ein Sitz ist C-Block (座はCブロックです)
Was soll die Konkurrenz sein wieder? (誰が競争相手なの?)
Willkommen! (歓迎しようこそ!)

**「富士青函」が
海外の方に人気です**

**地方への観光旅行も
言葉が通じれば
もっと楽しくなる**
What is a recommended meal? (何かおすすめの食事は無いかな?)
Do you serve meals? (食事ありますか?)

**知らない街でも
穴場スポットがわかる楽しさ**

Scene3 競技観戦

Scene4 地方観光

- ①多言語音声翻訳システムの研究開発(総務省)、②電子地図等の空間情報インフラの整備の促進(国土交通省)、
③顧客の購入品・移動履歴等からサービス向上に資するデータを地域で共有できるプラットフォームの整備(経済産業省)

チーム・ジャパンで取り組むバリアフリー・ユニバーサルデザイン施策

～「やさしい国・日本」を目指して～

- 2020年のオリンピック・パラリンピックを見据え、現状より一歩でも二歩でも進んだ取組を行う
 - ・ 大会の円滑な運営のため、空港からのアクセスルート等を中心に、より充実したバリアフリー化を実現
 - ・ ICT等を活用した情報案内など東京の最先端のユニバーサルデザイン化を通じ、超高齢社会の課題解決先進国としての日本をアピール
 - ・ 大会の開催効果を全国に波及させるため、また、地方創生の観点を踏まえ、地方の主要な観光地等のバリアフリー化を推進
- いつでも、どこでも、だれでも、安心して生活・移動できるユニバーサル社会、すなわち「やさしい国・日本」を目指す

1. ハード面のバリアフリー化の推進

(1) 大会の円滑な運営に向けた重点的なバリアフリー化の推進

① 競技会場のバリアフリー化

会場における車いす使用者のサイトライン確保を含む建築基準を策定。



② 競技会場周辺の面的・一体的なバリアフリー化

鉄道駅等から競技会場周辺の歩行空間を連続的・面的にバリアフリー化を推進。



③ 空港からのアクセスルートのバリアフリー化

エレベーター増設など最先端のバリアフリー化やホームドア整備、空港アクセスバスへのリフト付き車両導入に向けた実証運行を実施。



④ 大会関連情報に関する案内表示の整備

組織委員会等と連携してカラーリング等を用いた案内表示を検討。



(2) 超高齢社会のショーケースとなるようなユニバーサルデザイン先進都市・東京の実現

① 主要ターミナル、観光スポット等における重点的なバリアフリー化等

- ・ 空港ターミナルから、人気観光スポットまでの経路のバリアフリー化推進のための検討会を設置。
- ・ 臨海部と都心とを結ぶBRTの整備や案内情報の高度化を実施。
- ・ UDタクシーの普及促進。



② ICTを活用した情報提供等の充実

- ・ ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及促進を図る。
- ・ ロボット技術等を活用した歩行者移動支援について検討。



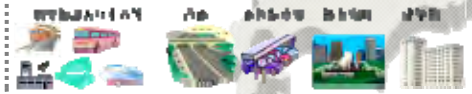
③ 舟運活性化、クルーズ船受け入れの推進に向けたバリアフリー化

空港と都内等を結ぶ舟運のバリアフリー化



(3) 東京2020大会を契機とした全国レベルでの戦略的・計画的なバリアフリーの推進

・バリアフリー法の整備目標の着実な達成



・ 公共交通など各機関と連携し、道路案内標識の英語表記を改善。



・ 地域において高齢者、障害者等の旅行支援を行うバリアフリーツアーセンターの拠点数を増やし、併せて多言語対応や人的支援の充実を促進。



・ アクセシブルな観光地の推奨・公表を行うため、新たに評価指標を整備。



2. ソフト面のバリアフリー化の推進

(1) 一般国民への普及・啓発（心のバリアフリー）の強化

障害者団体の新たな参加も得て、セミナー・キャンペーン等を実施し国民的運動として展開。併せて、心のバリアフリーに関する副教材を作成。



(2) 公共交通事業者等によるソフト対応の充実等

大会ボランティア等との連携や、障害特性や言語・宗教等にも対応した研修ガイドラインの作成など、職員教育の充実を通じた接遇の向上を推進。



(3) 公共交通機関等の利用における障害者への対応の改善

障害者差別解消法の施行を踏まえ、職員等による人的対応の円滑化を図るとともに、分かりやすい情報提供方法を検討。

